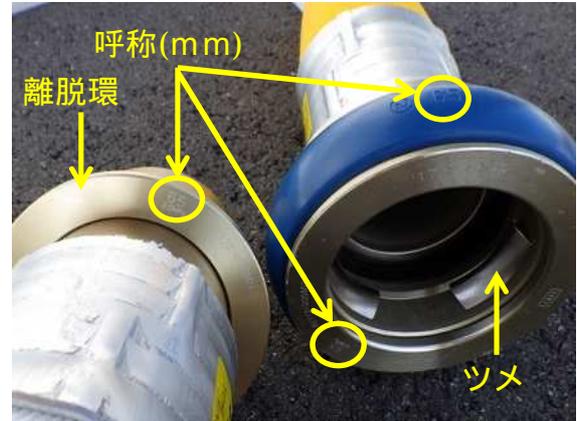
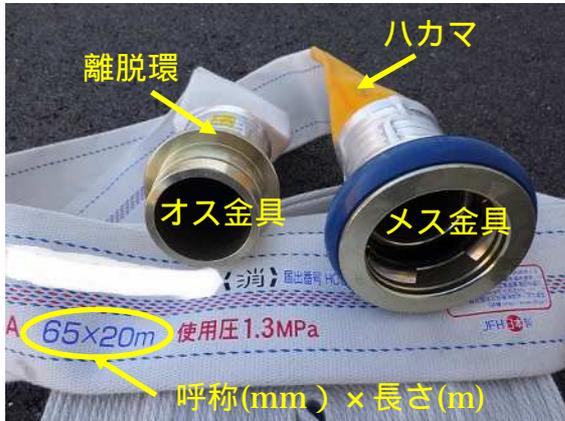


差込式（町野式）ホース取扱い要領

1 ホース各部の名称等



2 ホースの巻き方

(1) 一重巻き

努めて直線に延長し、オス金具側から内部の水、空気を排出しながら巻く。
用途は、ホースの格納や消防活動後の収納時に用いられる。



(2) 二重巻き

ア メス金具を下側に、オス金具を上側に短く(約60~70cm)重ねて二つ折りにする。



ホースを二つ折りにする際に腕や靴などを目安にして計測するのも1つの手段

イ 実施者は、二つ折りにした部分を中心にして重ねて巻いていく。

補助者は、上下のホースの重なりがずれないように左手を添え、右手でたるみを取りながら後退する。



3 ホースの延長要領

(1) 一重巻き

右手(左手)にメス金具を持ち、左手(右手)で巻いたホースをつかむようにして、振り子の要領でホースを振りながら、前に放り出す。放り出した瞬間にメス金具を手前に引くようにすると、ホースがよく転がり、一気にホースを延長することができる。



(2) 二重巻き

ア ホースのメス金具が手前になるように立て、右足先でメス金具近くを踏み、右手でオス金具を下方から確実に保持し、左手はホースに添える。



イ 展長方向を定めておいて、前方に転がすように展長する。



4 ホースの搬送要領

- (1) 折り膝の姿勢又は折り膝に準じた姿勢で、右手でメス金具、左手でメス金具の反対側を保持して持ち上げ、メス金具が上部斜め前方になるように左肩上に乗せ、左手に持ち替えて安定させた後、立ち上がる。



- (2) メス金具部を左手に持ち替えた後、右手で第1ホースのオス金具を持ち、腰につけ、立ち上がり、駆け足で展長ホースの左側に沿って前進する。



- (3) 第2結合部に至ったら、第1ホースを静かに置く。



5 ホースの結合要領

第1ホースのオス金具がやや上を向くように右足先で押さえ、第2ホースのメス金具を両手に持って、第1ホースのオス金具に合わせて差し込んで結合した後、ハカマ部分を両手で引いて結合（ツメが掛かっていること）を確認する。



6 ホースの離脱要領

左足先でオス金具がやや上を向くように押さえ、両手でオス金具の離脱環を手前に引きながら、メス金具を離脱する。



7 参考文献

- (1) 総務省消防庁「消防操法の基準」
- (2) 東京消防庁「3訂版 目で見える消防活動マニュアル」東京法令出版 2017年
- (3) 消防教育訓練研究会 菊池勝也編著「3訂版 イラストでわかる消防訓練マニュアル」東京法令出版 2015年
- (4) 消防ポンプ操法研究会編集「初版 目で見えて分かる消防ポンプ操法」東京法令出版 2016年
- (5) 消防庁・日本消防協会「第25回全国消防操法大会操法実施要領」